

2020年6月3日

各位

東村山市との地域連携協定の締結について ～当社は、東村山市のエネルギーコストおよび環境負荷の低減に協力します～

当社（社長：大田 勝幸）と東京都東村山市（市長：渡部 尚）は、今般、市のエネルギー自給率向上およびエネルギーコストと環境負荷の低減について協議を進めるべく、「東村山市内のエネルギー施策推進に関する連携協定」を締結しました。また、当社、東村山市およびアジア航測株式会社（社長：小川 紀一郎、以下「アジア航測」）は、東村山市役所の電気調達に関する業務効率化を目的に、東村山タウンマネジメント株式会社（以下「東村山タウンマネジメント」）を設立しましたので、お知らせいたします。

当社は、「2040年JXTGグループ長期ビジョン」において「地域サービス」を掲げており、「地産地消エネルギーと地域コミュニティサービスの連携」を目指しております。2019年12月に東村山市の「民間事業者提案制度」※¹にアジア航測とともに採択されたことをきっかけに、同市と協議を継続してまいりました。

本協定においては、東村山市内で行う太陽光発電事業、再生可能エネルギー由来電気の調達、蓄電池を活用したバーチャルパワープラント（VPP）事業の推進、災害長期化に備えた非常用電源・燃料の搬入体制構築などを検討し、2025年までにこれらの実現を目指します。

また、当社、東村山市およびアジア航測は、本年4月に東村山タウンマネジメントを設立し、同市の電気料金支払業務を一元化、業務削減によって生み出された経済価値を地域の課題解決に還元していくこととなりました。

当社は、今後も、低炭素・循環型社会の実現に向けて、地域コミュニティと連携し、地産地消エネルギーの推進に積極的に取り組んでまいります。

※1 民間事業者提案制度：民間事業者の主体的な発意によって市民サービスの質や満足度などを向上させるための事業等の提案を地方自治体が公募する仕組み




とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

<東村山市内のエネルギー施策推進に関する連携協定 概要>

目的	市のエネルギー施策推進、当社の電気事業低炭素化・需給調整力確保等推進による災害時のレジリエンス強化、低炭素社会実現の追求
期間	2020年度～2025年度
取り組み施策	(1) 再生可能エネルギーの拡充及び分散型エネルギーシステムの構築 (2) 環境係数の改善 (3) 災害時電源確保 他

<東村山タウンマネジメント株式会社 概要>

所在地	東村山市
代表者	野崎 満 (副市長)
事業内容	電力ガス料金支払い代行、交通インフラ整備他
資本金	75万円
設立年月日	2020年4月1日
出資者	東村山市 40% JXTGエネルギー株式会社 35% アジア航測株式会社 25%
ロゴ	 <p>東村山タウンマネジメント株式会社</p> <p>3本のケヤキの木は、東村山市・JXTGエネルギー株式会社・アジア航測株式会社の3者であり、また市民・行政・民間事業者の「三方よし」を目指す想いでもあります。</p> <p>1本の線で繋がれたイメージは、人と環境にやさしい循環型社会と地域の繋がりを表現しています。</p>

以上

JXTGは、社名もENEOSへ!

※ 2020年6月に開催予定の定時株主総会で定款変更が承認されることを条件に、同日日付で変更いたします。



とどけ! 熱いエネルギー ENEOS